

小中 真樹雄

- 小学校・中学校のオンライン授業の制度設計について問う

寺岡 公章

- 子ども達の学びと育ちを確保するために

日域 究

- 栗谷線バスの利用促進を問う
- 大竹地区の雨水排水について問う
- 小方まちづくりについて問う

和田 芳弘

- 空家対策について

原田 孝徳

- 「人口減少」「安心安全」「優先順位」～小方・玖波のまちづくりと中山間地域の防災、そして新町ポンプ場の問題～

小田上 尚典

- 公共交通の経路検索から見るオープンデータの今後について
- 公共施設における公衆無線 LAN の整備・活用について

山本 孝三

- 新型コロナウイルス感染防止対策について
- 小瀬川水系の三つのダム放流による災害防止等について

北地 範久

- 主要建設事業の進捗状況について
- 緊急時に対応できる道路整備について

問 新型コロナウイルスによる長期の学校休校により、小・中学校の夏休みが大幅に短縮されました。総務文教委員会で視察に行った大阪府箕面市では、今夏、児童・生徒約1万2000人を対象にオンライン授業を実施。一定の成果と課題を集約したようです。そこで市教委に問います。①1人1台に向けタブレット調達のメドは立ちましたか。②指導教員の習熟度を高めるための講習の実施方法は。③家庭での通信環境の状況調査の結果と、通信環境のない家庭への対処方法は。④普段の授業でのタブレットの活用方法は。⑤8月23日付毎日新聞で小熊英二・慶応大教授がコロナ禍による教育格差の拡大を憂えています。市教委の見解を聞かせてください。

小・中学校のオンライン授業の制度設計について問う



小中 真樹雄



箕面市教委の説明を聞く

答 **教育長** ①3学期の早い時期の配備に向け、事務を進めています。②県教育委員会に講師を依頼し、各校の担当者などを対象に、10月に研修を実施する予定で、受講した教職員が他の教職員に伝達することを想定しています。また、端末配備後に操作説明を全校で実施します。③Wi-Fi環境のある家庭は約90%、通信環境のない家庭は約2%で、他市町の状況を注視し、対処方法を慎重に判断します。④一斉学習、個別学習、協働的に学び合うグループ学習が考えられます。⑤このような状況だからこそ、教職員が児童生徒をしっかりと見つめ、基礎的な知識・技能を定着させるとともに、しっかりと考えさせ、考えたことを表現させていく授業を確実に実施したいと考えています。



寺岡 公章

子ども達の学びと育ちを
確保するために

問 学校行事が中止・延期・規模縮小され、例年では学校行事が担ってきた児童生徒の学習機会、成長機会が昨年度末以降、損なわれたままです。

行事の持つ教育的意義の達成や、もたらされる郷土愛の醸成を欠いたまま卒業を迎えることは、将来の社会の大きな損失につながりはしないかと心配しています。

学習機会、成長機会の損失について、学校教育でできる補充、家庭へのアプローチ、社会教育が担える取組みについてうかがいます。また保育所などの様子はいかがでしょうか。

答 **教育長** 一斉臨時休業に伴い、授業が遅れが生じているため、夏季休業日の短縮や学校行事などを中

止・変更しながら、授業時数を確保し、学習の遅れを取り戻すことができよう取り組んでいます。学校では、中止になった学校行事や学習に代わるものを計画するなど、感染症対策と教育活動の両立を図りながら、学習や成長の機会を可能な限り補完していきたいと考えています。

家庭へは、保護者に対し教育長名でメッセージを送ることを考えています。社会教育は、今後を見据えてオンライン講座などにも取り組んでいきたいと考えています。

市長 保育所などでの未就学児の様子は、幸いにもこのような状況下でも、感染症対策がされた環境で、元気に伸び伸びと過ごしています。



「無言清掃」は感染予防にも



日域 究

議会報告会で見えた

栗谷線問題

問 地区から出された問題を論じた今回の報告会、栗谷会場はバス問題でした。乗客がほぼいない状況下、会場で判明したのが岩国市の高齢者百円制度。安くても空気を運ぶよりはまし。利用者がいてこそ赤字も意味がある。バス支援策を調べてみれば、広島県は収支重視で山口県は乗客密度。利用者数を補助の要件とする山口県の方が理に叶う。高齢者割引の導入の検討を。

答 令和5年度までは現行の市地域公共交通網形成計画に沿い、運行サービスの維持を基本に、事業者と必要な改善について検討します。高齢者割引についても福祉の観点から福祉部局、市民の皆様と話をしながら検討していきます。

雨水排水問題が報告会の主役

問 栄町と新町は水路問題が主役でした。新町ポンプ場の問題とされますが、水路も狭すぎます。現状は毎時何mmの雨まで耐えられますか。

答 排水路の流下能力は、水路断面の大きさと水の流れの速さによります。速さは水路勾配の影響を受けることや、水路断面の大小もあるため、一概に毎時何mmの降雨に対応できるかについては把握できていませんが、これからも雨水対策にはしっかりと取り組んでいきたいと考えています。



大雨後も流れない油見の水路



和田 芳弘

空き家対策について

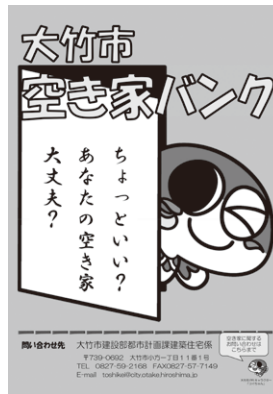
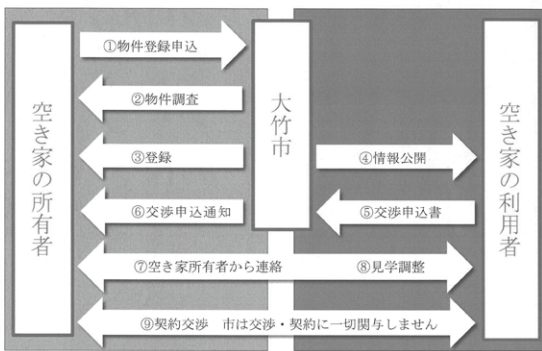
問 空き家の利用促進のために平成30年度から大竹市空き家バンクを設立していますが、空き家バンクの登録が進まない状況を市はどのように捉えていますか。

答 特定空家等の候補11件中指定した残りの6件について指定を急ぐべきではないか伺います。

答 空き家バンクの登録物件がない理由として、市場性の高い売れる物件は、空き家バンクに登録するのではなく、民間事業者で流通しているためと考えます。空き家対策の一環として、空き家バンク制度は少なからず効果があると認識しており、今後も十分検討したいと考えています。

本市では、指導・助言先である所有者を確定した上で、特定空家等の認定をしています。特定空家等候補

空き家バンクのしくみ



空き家バンクポスター

6件のうち1件は、空き家所有関係者と協議し、解体していただくことができました。残り5件は、引き続き、所有者の把握に取り組みんでいます。

人口減少問題から、

優先順位を問う



原田 孝徳

問 人口減少が止まらない。昨年は、全国で約50万人もの人口が減少し、減少率は最大となった。人口減少問題の打開策は、それを少しでも食い止める策の構築と市民への安心安全の提供、この二つをハイブリッドで押し進める必要がある。

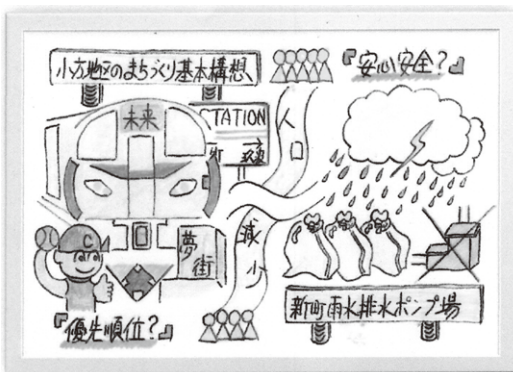
小方地区のまちづくり基本構想は、それをトータルとして良い方向に導く可能性を秘めているが、玖波地区の著しい人口減少や中山間地域の防災、そして新町雨水排水ポンプ場の問題は、市民の生命、財産、生活の確保に暗い影を落としている。

そこで、安心安全という観点から、どのような優先順位で事業やその解決法を考えているのか、市長の率直な思いを問う。

答 小方地区のまちづくり事業は、社会情勢の変化なども踏まえて効果を検証しながら慎重に進めます。玖波地区の人口は、駅西口整備など地域の活性化に取り組んできたものの減少傾向は続いており、引き続き地域住民の不安解消に努めます。中山間地域の防災は、居住区域が広く重点的な対応が難しいため、市民の身を守る行動につながるような情報発信に努めます。

新町雨水排水ポンプ場の整備は、費用だけでなく人員体制なども整えて進める必要があり、既存の雨水排水対策も含めてできるところから取り組んでいきます。

これらの事業に優先順位をつけるのは容易ではありませんが、市民の生命、財産を守ることを最優先に取り組んでいきたいと考えています。





小田上 尚典

市内公共交通の経路検索と
オープンデータについて

問 スマホなどで市内幹線バス「こいこいバス」の経路検索が可能になりました。今後、市内の公共交通機関の乗降客数増加のため、更に路線等を拡大すべさと思いますが、いかがですか。また、国が努力義務を課している基本計画を策定し、オープンデータとして公開しませんか？

答 今年度中に、他の路線も検索可能にしたいと考えています。今年度、県の基本計画が公表された後、本市でも基本計画の策定を検討します。また、広島広域都市圏協議会を活用するなどオープンデータの活用に向けた環境整備を検討します。

公共施設の無線LAN等の
ネット環境について

問 以前もお願いした、公共施設の無線LAN環境の整備状況は？災害時の利用だけでなく、平常時での利用は様々な市民活動をはじめ、GIGAスクール構想で児童・生徒へタブレット貸与が決まっているこの時期から考えていくべきだと思いますが、お考えを伺います。

答 現在、本市の施設には、公衆無線LANを設置していませんが、改築中の大竹会館には、設置する予定です。また、地域BWAの機器を公衆無線LANとして活用する予定です。設置に必要な費用と必要性を考慮し、設置を検討します。



山本 孝三

新型コロナウイルス
感染防止対策について

問 新型コロナウイルス感染症の現状は、安心できる状況ではありません。インフルエンザ流行の時期を控え、市民の心配も不安も拭えず、市として全国各地で導入されている自動PCR検査の実施・インフルエンザ予防接種に対する負担軽減など実施すべきです。

答 広島県では、検査体制のさらなる拡充や検査対象拡大による感染者の早期発見など、感染拡大防止の取組が新たに進められており、市としては、まずこうした情報の発信や感染拡大防止のための周知啓発などをしっかりと行っていきます。

ダム放流による
災害防止策について

問 利水優先のダム管理がようやく改められ、下流地域の被害防止のため「事前放流」が実施されることとなりました。放流の運用はどうか聞いていますか。また、小瀬川護岸強度の点検実施などについて要望しますが、台風シーズンを控え、どのように対処されているのでしょうか。

答 事前放流は国の方針やガイドラインに基づき、大雨が予想される3日前から放流するための運用が開始されています。放流に当たっては、流下能力低下の原因となる河川の中州の樹木の定期的な伐採などにより、十分な流下能力を確保する取組が進められていると伺っています。



答 現時点で、新型コロナウイルス感染症を理由とした入札の中止や、受注者からの工期延長の申出等の相談はありません。応札者がなく入札が中止となったものが2件、工期の見直しが必要となったものが1件あります。その他は概ね順調に契約を締結し、工事に着手しています。

問 今年度スタートした大型予算ではあるが新型コロナウイルス感染症の蔓延により世の中は一変した。
計画的に進めるべき建設事業について、当初計画と比べ、コロナ禍の影響や、残り半年となった工期も含め、進捗状況がどのようになっているのか伺います。

主要建設事業の
進捗状況について



北地 範久



完成間近の大竹会館新築棟本館

答 災害が頻発する中、交通ネットワークの多重化は重要性を増しており、整備の必要性を認識しています。今年度、廿日市市がこの道路の整備の検討に着手し、現地調査やルート検討を行っています。今後は、両市で協議、調整を進めたいと考えています。

問 玖波地区や鳴川地区の国道2号と高速道路の間に、緊急時の迂回路を兼ねた生活道路の整備が必要と思うが、この道路整備の計画の状況がどのようになっているのか伺います。

緊急時に対応できる
道路整備について

本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議の録画映像を動画で配信しています。
また、令和2年9月より常任委員会のライブ配信及び録画映像の配信を始めました。
下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト (YouTube) へ移行し視聴できます。



YouTube 大竹市議会



で検索 /



【注意事項】

- ①この議会中継は、本市議会の公式記録ではありません。
- ②動画配信サイト (YouTube) とは契約関係にありません。録画映像の公開はおおむね2年を予定していますが、動画配信サイト (YouTube) の都合により事前に終了することがあります。
- ③画面に企業広告等が現れることもありますが、本市議会と一切関係ありませんのでご注意ください。また、広告等によるいかなる理由での損害についても本市議会は一切の責任を負いません。
- ④ご使用になる機器・接続環境によっては、動画をご覧いただけないこともありますので、あらかじめご了承ください。